

# 施設整備

施設整備が完了するまでは、大きく分けて『計画・設計・積算』、『工事・監督』の2つに分けられます。また、施設整備が完了した後は、「いつでも・どんな時でも」使えるように『維持・管理』をしています。

## 計画・設計・積算

実際に現地で測量したり、机上計算で条件の確認、地元や関係機関との調整をします。調査・計画で出した条件に合わせて、施設の条件を決め、適正な金額を計算します。



計画の打合せ



積算の様子



平成28年度入省  
梅原 嵩仁

### プランニングの魅力

新規で設備を設置する時は、どの時期に何の施工を行うか計画し、時期に併せて、設計・積算、工事を発注します。法令を遵守するのは当たり前ですが、効率向上や防災強化を行うために、自分で設備の構成や規格を考えることは、とても面白みがあります。自分で考え、計画したシステムが使われていると想像したら、面白そうじゃないですか？

## 発注契約

## 工事・監督

基準どおりに施工されているか、安全に対する配慮がなされているかを確認します。監督確認を怠ると運用時に障害が起きる危険性もあるので、厳しいチェックが入ります。



工場検査



表示板の取付作業



平成31年度入省  
村瀬 貴紀

### 働きやすい環境で品質の良い設備を

設備が完成するまでのスケジュールを確認し、工事着手に至るまでの事前調整を行います。工事が始まると、現地に発注した施設が設計どおりにできているか、安全性・作業時間といった現場環境への配慮がされているかを確認します。紙やデータの設計内容が少しずつ現実のモノとして現れてくるのがこの仕事の魅力です。

## 更新・改良

# 道路情報表示装置のライフサイクル

## 完成



平成31年度  
安達 汀

### よりよい公共サービスを提供するために

設備設置時の施設毎の基礎データ、日々の運用状態として点検・障害・修繕データ等を蓄積しています。老朽化した施設に対し、蓄積データを元に施設の要否、機能の再検討、ライフサイクルコストの低減等を総合的に評価し更新・改良を行います。それに合わせて、新技術を導入するなど未知のことに触れる機会も多く、やりがいを感じます。

設備の性能、信頼性、延命化・整備・更新におけるコスト等を適切にマネジメントし効率的な資産管理を行っています。



資産管理システム



施設の精密点検(劣化診断)

## アセットマネジメント



平成28年度入省  
和田 竜太郎

### 機器を問題なく使い続けるために

私たちは、情報通信設備を問題なく使い続けるために機器の維持・管理を行っています。各機器は特性や環境によって寿命が変わってくるため、日々の状態確認が必要不可欠です。日々変わっていく状態の確認は非常に難しいですが、興味を持ちながら観察し適切な維持・管理ができるよう心掛けて業務に取り組んでいます。

常に使える状態を長期間維持するため、定期点検を実施します。遠隔で施設の状態を常に監視しています。



点検の様子



表示文字の変更

## 維持・管理・運用

## 老朽化